

2024年11月14日

各位

会社名 バルテス・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 田中 真史
(コード番号: 4442 東証グロース)
問合せ先 取締役 西村 祐一
(TEL. 06-6534-6570)

(訂正)「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2024年8月9日に開示いたしました「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」におきまして、記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」提出後に、記載内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、訂正いたします。

2. 訂正の内容

【訂正箇所】添付資料2～3ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[訂正前]

①ソフトウェアテスト事業

当事業においては、近年、金融業界を中心としたエンタープライズ系領域の受注が拡大したほか、PMO（注2）・QMO（注3）として上流工程への関与及び大型マイグレーション（注4）案件への参画が増加したことにより、案件の大型化が加速するなど順調に拡大を続けてまいりましたが、前期よりPM層/ハイレイヤー及び営業人員不足等のボトルネックが発生し、これら内部体制の不備によって成長が阻害される状況となりました。

当第1四半期においては前下半期から継続してこれらボトルネックの解消に向けた施策実施を進めてはおりますが、これらは即効性を期待するものではないため、売上高に関しては若干計画値を上回るにとどまりました。その結果、外部顧客に対する売上高は2,104,831千円（前年同期比3.3%減）と微減いたしました。一方で、案件に関わるエンジニアの管理体制強化による売上総利益率の向上等、事業の効率化に注力した結果、セグメント利益は123,849千円（同2.4%増）となりました。

（注2）PMO（Project Management Office）

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

（注3）QMO（Quality Management Office）

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

(注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②開発事業

当事業においては、前下半期よりフェアネスコンサルティング株式会社が新たにグループインした影響もあり、外部顧客に対する売上高は297,230千円(前年同期比23.2%増)と伸長しました。一方で、一部大型案件において大幅な進捗遅延が発生し、同案件に人的リソースを集中したことで人件費や外注費が増加したため、セグメント損失は96,644千円(前年同期は18,689千円のセグメント損失)となりました。

③セキュリティ事業

当事業においては、上記大型案件に人的リソースを集中した影響もあり、外部顧客に対する売上高は37,624千円(前年同期比20.8%減)、セグメント損失は10,604千円(前年同期は2,054千円のセグメント損失)となりました。

[訂正後]

①ソフトウェアテスト事業

当事業においては、近年、金融業界を中心としたエンタープライズ系領域の受注が拡大したほか、PMO(注2)・QMO(注3)として上流工程への関与及び大型マイグレーション(注4)案件への参画が増加したことにより、案件の大型化が加速するなど順調に拡大を続けてまいりましたが、前期よりPM層/ハイレイヤー及び営業人員不足等のボトルネックが発生し、これら内部体制の不備によって成長が阻害される状況となりました。

当第1四半期においては前下半期から継続してこれらボトルネックの解消に向けた施策実施を進めてはおりますが、これらは即効性を期待するものではないため、売上高に関しては若干計画値を上回るにとどまりました。その結果、外部顧客に対する売上高は2,104,831千円(前年同期比2.7%減)と微減いたしました。一方で、案件に関わるエンジニアの管理体制強化によって売上総利益率は向上するも、新設部署の人件費が増加した影響により、セグメント利益は90,871千円(同15.9%減)となりました。

(注2) PMO (Project Management Office)

組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援を横断的に行う部門や構造システム

(注3) QMO (Quality Management Office)

組織内における個々の品質管理の支援を横断的に行う部門や構造システム

(注4) マイグレーション

ソフトウェアやシステム、データなどを別の環境に移動したり、新しい環境に切り替えたりすること

②開発事業

当事業においては、前下半期よりフェアネスコンサルティング株式会社が新たにグループインした影響もあり、外部顧客に対する売上高は297,230千円(前年同期比23.2%増)と伸長しました。一方で、一部大型案件において大幅な進捗遅延が発生し、同案件に人的リソースを集中したことで人件費や外注費が増加したため、セグメント損失は70,079千円(前年同期は15,234千円のセグメント損失)となりました。

③セキュリティ事業

当事業においては、上記大型案件に人的リソースを集中した影響もあり、外部顧客に対する売上高は37,624千円(前年同期比38.0%減)、セグメント損失は4,922千円(前年同期は7,295千円のセグメント利益)となりました。

【訂正箇所】添付資料7ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

[訂正前]

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,177,517	241,300	47,499	2,466,317	—	2,466,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,877	47,135	—	60,012	△60,012	—
計	2,190,395	288,435	47,499	2,526,329	△60,012	2,466,317
セグメント利益又は損失 (△)	120,907	△18,689	△2,054	100,164	△19,296	80,867

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△19,296千円は、セグメント間未実現利益の調整額△5,202千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△14,094千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

[訂正後]

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,164,309	241,300	60,707	2,466,317	—	2,466,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,877	47,135	—	60,012	△60,012	—
計	2,177,186	288,435	60,707	2,526,329	△60,012	2,466,317
セグメント利益又は損失 (△)	108,102	△15,234	7,295	100,164	△19,296	80,867

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△19,296千円は、セグメント間未実現利益の調整額△5,202千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△14,094千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【訂正箇所】添付資料 8 ページ

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

[訂正前]

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,104,831	297,230	37,624	2,439,686	—	2,439,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,217	60,262	—	81,479	△81,479	—
計	2,126,048	357,493	37,624	2,521,165	△81,479	2,439,686
セグメント利益又は損失 (△)	<u>123,849</u>	<u>△96,644</u>	<u>△10,604</u>	<u>16,600</u>	<u>△19,285</u>	<u>△2,685</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△19,285千円は、セグメント間未実現利益の調整額△6,051千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△13,234千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

[訂正後]

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソフトウェア テスト	開発	セキュリティ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,104,831	297,230	37,624	2,439,686	—	2,439,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,217	60,262	—	81,479	△81,479	—
計	2,126,048	357,493	37,624	2,521,165	△81,479	2,439,686
セグメント利益又は損失 (△)	<u>90,871</u>	<u>△70,079</u>	<u>△4,922</u>	<u>15,870</u>	<u>△18,555</u>	<u>△2,685</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△18,555千円は、セグメント間未実現利益の調整額△5,321千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△13,234千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

以上